

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月23日

上場取引所 大

上場会社名 鉦研工業株式会社

コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 末永 幸紘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 大谷 幸彦

TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,294	△26.4	7	△88.4	△51	—	△77	—
23年3月期第3四半期	4,476	5.7	66	—	△39	—	△148	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △48百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △145百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△8.69	—
23年3月期第3四半期	△16.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,718	1,519	22.3
23年3月期	7,110	1,568	21.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,498百万円 23年3月期 1,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	△23.8	40	△86.5	△30	—	△60	—	△6.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	8,970,111 株	23年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	3,029 株	23年3月期	3,029 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	8,967,082 株	23年3月期3Q	8,967,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、生産や消費マインド回復による急速な景気持ち直しの動きから、秋以降はユーロ不安を背景とする海外経済の減速や急激な円高の影響を受け、景気回復のテンポが鈍化する展開となりました。

こうした中、当社グループでは当期より開始した「中期経営計画」に基づき、売上高の持続的拡大と収益体質の確立を基本方針として、グローバル展開の促進、市場・顧客開拓力の向上、得意分野の深化、損益分岐点の引き下げ、コーポレート・ガバナンスの確立に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、ボーリング機器関連の受注は中国向け販売の停滞を主因に伸び悩んだものの、工事施工関連の受注が大型案件の受注等により増加したことから、受注高は前年同四半期比0.9%減の4,441百万円となりました。受注高は前年同期比微減となりましたが、第4四半期連結会計期間以降の売上となるものが多く、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ26.4%減の3,294百万円となりました。

当社グループでは売上高の減少に対処すべく原価低減に注力しており、原価率は前年同四半期に比べ6.1ポイント改善しましたが、売上高の減少を補うには至らず、売上総利益は前年同四半期比62百万円減の928百万円、営業利益は前年同四半期比59百万円減の7百万円となりました。また、為替差損、支払利息の減少により営業外費用が前年同四半期比40百万円減少した結果、経常損失は51百万円（前年同四半期は39百万円の経常損失）となり、四半期純損失として77百万円（前年同四半期は148百万円の四半期純損失）を計上いたしました。

なお、セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

（ボーリング機器関連）

当第3四半期連結累計期間の受注高は、国内販売は前年同四半期に比べ増加したものの、中国の鉄道建設停滞に伴う中国向け販売の減少を主因に海外販売が減少したことから、前年同四半期比15.8%減の2,456百万円となりました。海外受注の減少に加えて、国内受注においても売上が第4四半期連結会計期間以降となるものが多く、売上高は1,906百万円と前年同四半期比32.3%減となり、セグメント損失（営業損失）119百万円（前年同四半期は57百万円のセグメント利益）を計上いたしました。

（工事施工関連）

当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同四半期比26.8%増の1,984百万円となりました。受注高は増加したものの、第4四半期連結会計期間以降の売上となる受注の割合が高く、またODA工事の出来高が施工案件の減少等により前年同四半期に比べ大幅に減少したこともあり、売上高は1,387百万円と前年同四半期比16.3%減となりました。損益面では、ビッグマン・レイズボーリング工事等大型工事の原価低減を図った結果、セグメント利益（営業利益）として126百万円（前年同四半期は9百万円のセグメント利益）を計上いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して392百万円減少し、6,718百万円となりました。

流動資産は、ボーリング機器関連において生産高の増加により商品及び製品が433百万円、仕掛品が75百万円増加し、工事施工関連においては仕掛工事が進捗し始めたことにより未成工事支出金が149百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金、完成工事未収入金が主に回収により684百万円減少し、また現金及び預金も361百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して321百万円減少し、4,682百万円となりました。

有形固定資産は、機械装置及び運搬具、工具器具及び備品などで35百万円の設備投資を行いました、減価償却の実施、一部資産の除売却等により、前連結会計年度末と比較して65百万円減少し、1,940百万円となりました。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して343百万円減少し、5,199百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が支払いにより414百万円、賞与引当金が従業員への賞与支給により55百万円減少しましたが、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が137百万円、工事未払金が32百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して151百万円減少し、3,179百万円となりました。また、固定負債は、長期借入金が約定弁済により151百万円、社債が償還により25百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して192百万円減少し、2,019百万円となりました。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失として77百万円を計上したものの、法定実効税率の変更に伴い土地再評価差額金が25百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して48百万円減少し、1,519百万円となりました。自己資本比率は、総資産を圧縮したことにより、前連結会計年度末の21.8%から22.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月24日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成24年1月23日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(連結業績予想)

売上高	5,100百万円	(前期比 23.8%減)
営業利益	40百万円	(前期比 86.5%減)
経常利益	△30百万円	(前期比 —)
当期純利益	△60百万円	(前期比 —)

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,477	763,521
受取手形及び売掛金	1,419,531	1,009,753
完成工事未収入金	480,224	205,964
商品及び製品	1,196,774	1,630,183
仕掛品	206,292	282,208
未成工事支出金	79,595	229,103
原材料及び貯蔵品	376,781	412,271
前渡金	72,027	55,196
その他	64,839	109,637
貸倒引当金	△17,784	△15,164
流動資産合計	5,003,760	4,682,675
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,351,566	1,351,566
その他(純額)	654,328	589,213
有形固定資産合計	2,005,894	1,940,779
無形固定資産	7,114	6,770
投資その他の資産		
その他	236,632	225,472
貸倒引当金	△142,593	△137,266
投資その他の資産合計	94,038	88,205
固定資産合計	2,107,047	2,035,755
資産合計	7,110,807	6,718,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,517,879	1,103,141
工事未払金	26,735	58,870
短期借入金	844,779	935,620
1年内返済予定の長期借入金	433,480	480,280
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
賞与引当金	113,989	58,200
受注損失引当金	4,700	—
その他	339,233	493,415
流動負債合計	3,330,796	3,179,526
固定負債		
社債	100,000	75,000
長期借入金	1,090,280	938,870
退職給付引当金	708,805	715,203
役員退職慰労引当金	99,097	101,707
資産除去債務	10,858	10,958
その他	202,899	177,821
固定負債合計	2,211,941	2,019,561
負債合計	5,542,738	5,199,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,846,297	1,846,297
資本剰余金	1,687,943	1,687,943
利益剰余金	△2,119,319	△2,197,258
自己株式	△1,243	△1,243
株主資本合計	1,413,677	1,335,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△887	498
土地再評価差額金	136,943	162,100
その他の包括利益累計額合計	136,055	162,598
少数株主持分	18,335	21,005
純資産合計	1,568,068	1,519,343
負債純資産合計	7,110,807	6,718,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,476,475	3,294,399
売上原価	3,486,025	2,366,050
売上総利益	990,449	928,349
販売費及び一般管理費	923,485	920,578
営業利益	66,964	7,771
営業外収益		
受取利息	1,621	948
受取配当金	175	75
貸倒引当金戻入額	—	4,855
賞与引当金戻入額	—	840
その他	10,410	11,554
営業外収益合計	12,206	18,273
営業外費用		
支払利息	52,548	42,192
支払手数料	1,855	1,209
為替差損	59,456	29,185
その他	4,403	5,048
営業外費用合計	118,263	77,636
経常損失 (△)	△39,092	△51,591
特別利益		
固定資産売却益	2,851	68
貸倒引当金戻入額	11,663	—
賞与引当金戻入額	5,464	—
債権受贈益	—	7,861
特別利益合計	19,979	7,929
特別損失		
固定資産売却損	137	587
固定資産除却損	571	203
減損損失	6,719	—
投資有価証券評価損	1,399	1,324
臨時損失	23,931	—
不適切取引損失	69,484	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,878	—
特別損失合計	106,122	2,115
税金等調整前四半期純損失 (△)	△125,236	△45,776
法人税、住民税及び事業税	21,178	27,988
法人税等調整額	150	1,502
法人税等合計	21,329	29,491
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△146,565	△75,268
少数株主利益	1,522	2,670
四半期純損失 (△)	△148,088	△77,938

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△146,565	△75,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,331	1,385
土地再評価差額金	—	25,157
その他の包括利益合計	1,331	26,543
四半期包括利益	△145,233	△48,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,756	△51,395
少数株主に係る四半期包括利益	1,522	2,670

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,818,655	1,657,820	4,476,475	—	4,476,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,831	133	8,964	△8,964	—
計	2,827,486	1,657,953	4,485,440	△8,964	4,476,475
セグメント利益	57,477	9,340	66,817	146	66,964

(注) 1. セグメント利益の調整額146千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,906,869	1,387,530	3,294,399	—	3,294,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,794	18	13,812	△13,812	—
計	1,920,663	1,387,548	3,308,211	△13,812	3,294,399
セグメント利益又は損失(△)	△119,683	126,980	7,297	473	7,771

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額473千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。